



2022年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社中村超硬
代表者名 代表取締役社長 井上 誠
(コード番号：6166 東証グロース市場)
問合せ先 取締役管理本部長 藤井 秀亮
(TEL. 072-274-1072)

第2四半期連結累計期間の連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2022年5月13日に公表しました2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期（累計）業績予想と実績値との差異

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,700	40	30	△50	△4.54
今回実績 (B)	1,821	43	88	△35	△3.24
増 減 額 (B - A)	121	3	58	14	
増 減 率 (%)	7.1	7.9	195.3	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	1,832	101	100	△51	△4.94

2. 差異の理由

2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績については、特殊精密機器事業において、世界的な半導体不足や中国経済の停滞の影響を受け厳しい事業環境となりましたが、化学繊維用紡糸ノズル事業においては、風力発電用ブレード向け炭素繊維用紡糸ノズルの売上が好調に推移するとともに不織布製造装置案件が検収されるなど堅調に推移いたしました。

これらの結果、連結売上高は1,821百万円、営業利益は43百万円となりました。また、円安進行に伴う為替差益の計上と化学繊維用紡糸ノズル事業における在庫の一部売却による原材料売却益の計上により経常利益は88百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純損失も前回予想値から縮小する結果となりました。

第3四半期以降については、引き続き世界的な半導体不足や中国経済の停滞の影響により、厳しい受注環境が継続するものと想定されることから、2023年3月期通期業績につきましては、前回発表した業績予想値を据え置くことといたします。今後の市場・業績動向により修正の必要が生じた際には速やかに開示いたします。

※上記の業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因により上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上